

【生薬名】牛膝 *ACHYRANTHIS RADIX*

【起源植物】 *Achyranthes bidentata*, *Cyathula officinalis* 川牛膝  
ヒナタイノコヅチ *Achyranthes fauriei* 日立牛膝



【科名】ヒユ科 *Amaranthaceae*

【別名】ウチデノコヅチ、日本産は日立牛膝

【薬用部分】根

【主成分】サポニン、K塩、粘液質、アルカロイド、昆虫変態ホルモン

【薬性】気味は甘微苦平、帰経は肝腎に属す

【効能】●祛瘀止痛、活血通経、補益肝腎

●浄血、通経、利尿薬として、婦人病や腰痛、脚関節痛、しびれなどに1日5~10gを煎服

●他の薬物の薬効を下方へ導き、下半身の疾患に効果を出す働きがあると経験的に言われている。

●下行作用を応用で、腰腿部の疼痛、血尿や腰痛を伴う腎結石や尿道炎等、月経痛、無月経、頻発月経など気滞瘀血の婦人病、風湿による痺痛、頭や上半身の血液を下半身の方へ動かすので高血圧での頭痛やめまい感、歯痛などに使っている

●血管拡張作用は有るが効果は短い

●単独では用いることは少なく、主に漢方処方に配合される

【出典】●治寒濕痿痺. 四肢拘攣. 膝痛不可屈伸. 逐血氣. 傷熱火爛※. 墮胎. 久服輕身耐老. (神農本草經上品)

●牛膝 味苦、湿痺痿を除き、腰膝酸疼、陰を益し髓を補う。(薬性歌)

【備考】●懷牛膝(河南省産)が品質良好である

【処方例】●疎経活血湯、牛車腎気丸、牛膝散、折衝飲、大防風湯